



# 学校だより

令和元年5月31日

横浜市立洋光台第三小学校

6月号

校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

会場が一つになって

副校長 沖 なおみ

若葉薫るすがすがしい時期もつかの間に、あっという間に夏が到来したようなこの頃ではありますが、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より学校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

明日に運動会を控え、今日、校内は大きな士気に包まれています。連休明けから始まった練習を振り返ってみますと、運動会はまだ始まっていないにもかかわらず、校庭に響く声援やかけ声、走る、踊る、集う子どもたちの姿が目につかび、心打たれる思いでいます。

昭和、平成、令和と時代が変わる中、学校行事の「運動会」は、学校によって紅白の二色から縦割りの三色、四色など、競い合うカラーが多様になっている変化こそありますが、チームを組み、共に力を競い合う体育的行事であることに変わりはありません。運動会のねらいは、競技や競技以外の演技や応援合戦を通し、体力、技術の充実はもちろんのこと、自主性や責任感、公正な態度や仲間意識を育むことにあります。

そして、運動会は保護者の皆様をはじめ地域の皆様にもお越しいただき、たくさんの応援をいただく行事です。かつて先輩からは、「勝敗で悔しい思いをしても、それがいつまでも残っていることはない。なぜならそこには観衆のあたたかい応援、声援があるからだ。」という話を聞いたことがあります。そういえば自身を振り返っても、友人の言動を思い起こしても、悔しさがいつまでも残っている話など聞いたことがありません。むしろ、「運動会が楽しかった」という記憶だけが残っています。会場からの声援、歓声、拍手に大きく支えられていたことに気付かされました。

つきましては、明日が子どもたちの達成感や充実感につながり、次の目標に向かってまた力強く歩む日となりますように、保護者の皆様、地域の皆様にはお力添えいただきたく、あたたかい応援とご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

先週の昼食時、私は放送室に招かれ、「ずばり！今年の勝敗はどちらだと思えますか」と、インタビューを受けました。先述したように、本番に向けて一生懸命にがんばっている子どもたちの姿からは予想が立てにくく、「分かりません。」と答えました。明日の熱戦を応援したいと思います。7月号では詳細をお伝えいたします。